

スマート農業セミナーのご案内 (オンライン配信)

～持続可能な社会の構築に向けて農業の果たす役割～

【開催趣旨】：EUが2020年5月に公表したFarm to Fork「農場から食卓まで」戦略は欧州グリーンディール政策の中核として環境への積極的な対応とともに、EUの持続可能な食料システムを国際基準にすることを目的としている。これに呼応して2020年10月に日本政府は2050年カーボンニュートラルを宣言し日本の食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する戦略としてみどりの食料戦略を策定し、アジアモンスーン地域の持続的な食料システムのモデルとして国際基準策定に参加する意欲を表明した。戦略実現の原動力であるイノベーションとして期待される新技術の中でもスマート農業の果たす役割は大きい。そこで国の施策や戦略のビジョンなどお聴きするとともに、近未来の北海道農業とスマート農業のあるべき姿を確認する。是非多くの皆様のご参加をお待ちしております。

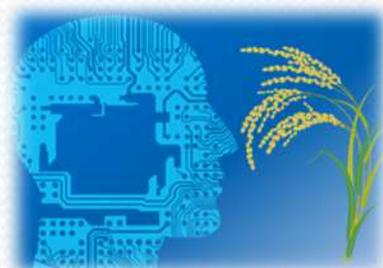
開催日時：2022年3月11日(金)14:00～16:40 (Zoomウェビナー 開場13:45～)

参加者：事前申込、定員500名(無料)

申込案内：次のアドレスに掲載のWebフォームよりお申し込みください

<https://h-sangakukan.jp/events/3566>

【プログラム】：全体テーマ「持続可能な社会の構築に向けて
農業の果たす役割」



開会 14:00～

主催者挨拶 北海道高度情報化農業研究会

会長 小田原 輝和 (公益財団法人 北海道農業公社 理事長)



基調講演

14:10～15:00 「スマート農業のさらなる加速化と、みどりの食料システム戦略の実現に向けて(仮)」
農林水産省 大臣官房政策課 技術政策室長 松本 賢英 氏



(5分休憩)

北海道の取組報告

15:05～15:30 報告1 「北海道におけるスマート農業の推進について」

北海道 農政部 技術普及課 主査(スマート農業) 田中 力 氏



15:30～15:55 報告2 「スマート農業について ～ ホクレンRTKの取り組みなど」

ホクレン農業協同組合連合会 農業総合研究所 営農支援センター
スマート農業推進課 課長 清水 環 氏



(5分休憩)

16:00～16:40 パネルディスカッション(登壇者他)

ファシリテーター 北海道高度情報化農業研究会 副会長 竹中 秀行 氏
(一般社団法人 北海道農業機械工業会 専務理事)



16:40 閉会

【主催】：北海道高度情報化農業研究会

【後援】：農林水産省北海道農政事務所、北海道庁、ホクレン農業協同組合連合会、
一般社団法人北海道産学官研究フォーラム、産学官CIM・GIS研究会

【連絡先】：北海道高度情報化農業研究会 事務局長 大高 秀之 e-mail: otaka.hideyuki@adhokkaido.or.jp

(〒060-0005 札幌市中央区北5西6-1 公益財団法人北海道農業公社 農村施設部 TEL:011-241-7551 FAX:011-271-3776)